

《日本の昔話》のページには、伝説的なものや小話、現代の民話もふくまれています。すべてが純粹に昔話とはいえないけれども、ほとんどの話に、輪郭のはっきりした物、鋭い物、固いものが登場します。そして、そうでない物との出現数を比較すれば、かなり高い割合であることがわかります。

- 「旅人馬」 芽、穂、なす、なすの木
- 「天狗のまな板石」 高い山の頂上、赤い高い鼻、碁、鐘、石
- 「くまのしっぽはなぜみじかい」 荷車、すすき、氷、
- 「おぼすて山」 木の枝
- 「食わず女房」 木、大釜、梁、菖蒲
- 「おんちよろちよろあなのぞき」 仏壇、かね
- 「やまんばと桶屋」 竹、桶
- 「弓の名人」 綿弓、ほうろく、つえ、壺、皿、弓、矢、城
- 「きつねの伝言」 いかだ
- 「大晦日のお客」 お金
- 「ねこがねずみを追いかけるわけ」 御殿の門
- 「三人のどろぼう」 三角、竹、豆
- 「ぶいが谷のお酒」 木
- 「広岡の腰痛地蔵」 つえ
- 「くもと夢」 千両箱
- 「戦火の弘法大師」 戦闘機、木、アンテナ
- 「豆まきの由来」 豆、岩屋、鬼の角
- 「豆さんころがれ」 豆、重箱、戸の節穴
- 「さるの海岸見物」 松の木、石積み、石垣
- 「おかめが池の人魚」 石
- 「一休さんの大きな話」 木の枝、岩穴、亀
- 「たこやき」 棺桶
- 「くじら石とはさみ石」 岩穴、はさみ、岩
- 「さかべつとうの浄土」 釣竿、御殿
- 「地獄へ行った吉兵衛さん」 柿の木、台、石、門
- 「くらいくらい」 家、棚、引き出し、箱
- 「豆の大木」 豆、芽、木、手桶、箸、たにし
- 「たなばた」 ユゴの木、ほうちよう